K's NEWS
KANSAI HOKURIKU BLOCK in AREA ×3

開催報告

全国大学生協連
関西北陸ブロック
執筆者：大兵和エリア内局
発行日：2026年11月20日

大兵和エリア
大兵和交流会#2

概要

日程：2026年11月7日(土)
場所：大阪大学豊中キャンパス 学生交流棟 カフェテリア「かさね」

参加者

近畿大(6)、大経大(3)、樟蔭女(2)、大阪大(3)、兵県大(7)

計5会員21名





「対面開催が楽しみ！」という声をいただいてから約5ヶ月。ついに大兵和交流会の対面開催が実現しました！

01 開会式 さあ、始まるぞ！

大兵和交流会での目標を確認しよう！

今回の大兵和交流会は、「活動のモチベーション」「繋がることの楽しさ」「仲間とともに」「新しい気付き」「事務局も身近な存在」をキーフレーズに、楽しく交流できる場とすることを目標に設定しました！
様々な企画を通して、笑顔あり学びありの素敵な会にすることを全員で統一できました！

02 企画① アイスブレイクの時間

一緒に体験しよう！大学生活すごろく🎲

事前課題として持参してもらった自大学の取り組みとすごろくの指示を記した「イベントカード」をすごろくに配置し、大学生活で起こる出来事をすごろくを通して体験しました！参加者と事務局が終始和気あいあいとした雰囲気ですごろくを楽しんでおり、終了後には参加者同士でイベントカードを交換する姿も見られました。



他の生協にどんな企画があるかを知れてよかったです。休憩時間やちょっとした合間に、企画について話しあうことができるきっかけになりました。またすごろくをして、緊張をほどくことができました。(兵庫県立大・2年)

03 企画②-1 自大学の現状を知る時間

自大学の取り組みを分野別に分類してみよう！

企画②の前半では「現状確認シート」を使って、
自大学の活動や学生委員・組合員の様子を
くみくみ / しゃか / けんあん / まなせい / 新学期
の5つの分野に分類して振り返りました。
普段の取り組みを分野に当てはめることで、自大学が得意な分野と今後伸ばしていける分野を可視化することができ、後半のブース巡りの時間に向けた準備をすることができました。



けんあんとか、用語の意味を知っていても実際になんの企画にあたるのか知らないものが多かったので、学びが深まりました。(兵庫県立大・2年)

04 企画②-2 ブースを巡る時間

自大学イチオシの取り組みをみんなで分かち合う！

自大学で成長の余地がある分野の他大学事例を中心に、大兵和の取り組みがまとめられたブースを班のみんなで巡りました！企画内容や自大学に活かせそうな点をたくさん持ち帰りました。ひとことカードブースもあり、互いの声を届ける姿も多く見られました！



各大学で企画についての説明や、この目的を持っているからこれをしたという経緯が明確に理解できてとてもよかったです。新学期の活動やこれからの活動にも活かせそうな部分を吸収できたと感じています。(近畿大・2年)

05 企画③ 言語化の時間

他大学の”舞台裏”をのぞいてみよう！

ブースで気になった企画の舞台裏について、班内で質問を投げ合いながら深掘りしました！特に「SNSや入説での広報の工夫」や「選択式アンケートでの声の集め方」など、明日から自大学でも真似できそうなヒントをたくさん持ち帰りました。互いの工夫を重ね合い、大兵和エリアの仲間とつながる時間になりました！



他大学の企画の目的や運営の進め方などたくさん質問して、知ることができて良かったと感じています。自大学でもやるべきだな、ここはこうしていかないとなというこれからの方針を考えるきっかけになりました。（近畿大・2年）

06 閉会式 どんな1日だったかな？

企画を振り返って目標の達成度合いを確認！

各企画での参加者の様子を写真で振り返りながら、この交流会の目標を達成したかどうかを確認しました！
すごろくで楽しむ姿、現状把握シートとブース巡りで語り合い学び合う姿、舞台裏シートと対話で取り組みのヒントを持ち帰ろうとする姿…！その1つ1つを以て、全員で統一した目標は達成されたと言えるでしょう！



とても楽しく自大学と他大学を見比べることができ、とても充実した時間でした。(樟蔭女・1年)



「自分たちにできること」を意識して行動(企画)に移された所を私の大学でも生かしていきたいと思いました！
(大経大・1年)

+A みんなの想いが詰まった「ひとことカード」

宛先となっている会員に届きます！

企画②で、取り組み紹介ブースを観た感想や、取り組みに関する質問を「ひとことカード」に記入し、ポストに投函してもらうことで、会員間のさらなる交流を促進しました！後日、投函されたカードを該当会員生協にお届けします！

感想や質問への返答を通して、大兵和交流会の後も継続的な交流をしていきましょう！

つながる元気、ときめきキャンパス。
univ. CO-OP

17 パートナーシップで目標を達成しよう

私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [松本 蒼生]
Matsumoto.Aoi@univ.coop